

名古屋オルガンの春&秋

コンサートシリーズ「名古屋オルガンの秋」はカトリック五反城教会のパイプオルガンが修復されたこと、そして、カトリック五反城教会を創立した神言修道会の来日100周年を記念して2007年に始められ、今年で開催6年目を迎えます。今までご支援下さいましたみなさまに心より御礼を申し上げます。これからも、「パイプオルガンの楽しさ」と「音楽による心への響きと幸せ」を名古屋より発信し、多くの方にお届けして参りたいと思っています。

五反城教会には1978年にドイツ・ケルン市のペーター社によって建築された30ストップの楽器が設置されています。日本にあるパイプオルガンの中でも歴史的な価値の非常に高い楽器だと言えるものでしょう。当時の五反城教会司祭であったドイツ出身の神言会司祭ヨゼフ・トナイク神父はオルガンが設置された1978年に「名古屋オルガン友の会」を創立しまし

た。以来、2001年に解散されるまで名古屋オルガン友の会は数多くのコンサート、又はコンサートシリーズを開催し、名古屋のオルガン文化の重要な担い手として活発な活動を続けていました。当時は中部地方でも希少なパイプオルガンのうちの一台であったこの楽器を使用し、マリー=クレール・アランをはじめとした世界中から来日した名オルガニスト達がこぞってコンサートを行っています。数年前よりこのオルガンは修復が必要な状態となっていました。2007年9月から10月までの6週間をかけてペーター社が修復・総クリーニング作業と再整音を行い、完成当時の状態へと復興しました。

名古屋オルガンの秋実行委員会ではこの伝統を受け継ぎ、名古屋を中心に多面的なパイプオルガンの楽しさ、素晴らしさ、教会音楽の心を継続的に伝えていけるように活動をしたく考え、「名古屋オルガンの秋」を催します。

なるべく多くの方にパイプオルガンという楽器の魅力に触れて頂きたいという方針から、基本的に入場は無料としましたが、今後の継続的な活動が可能となるよう皆様のご資金のご協力をお願いいたします。

演奏者プロフィール



小出 信也 Shinya Koide (フルート)

15才の時にフルートを始め、故林リ子に師事。第25回毎日音楽コンクール(現日本音楽コンクール)で第2位入賞。21才でNHK交響楽団へ入団。1962年アウロス木管五重奏団で芸術祭奨励賞を受賞。68年フランス政府給費留学生として渡仏、J.P.ランバル、C.h.ラルデ等に師事。ザルツブルグのモーツァルテウム夏期講習会でカール・ハインツ・ツェラーに師事。78年第1回パリ国際フルートコンクール(後のランバルコンクール)審査員。N響においても定期公演などに度々ソリストとして出演。国内外の演奏家との共演も多く、故安川加寿子と「フランス音楽の夕べ」や、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団、シュツットガルトゾリステン等との共演など多数。N響功労者に贈られる有馬賞を受賞。1998年、39年間在籍し、首席奏者を努めたN響を定年退職。99年日本フルート協会主催の名古屋コンベンションでヴォルフガング・シュルツと協演。2000年にはブラハでNostitz String QuartetやPrague Chamber Stringsと共演して好評を得た。2003年10月にリリースしたCD KOIDESSIMO II はレコード芸術誌12月号で特選盤に選ばれた。現在はソリスト、室内楽奏者として活躍している。ウェブサイト <http://www.koidessimo.com/>



ウーヴェ・コミシュケ Uwe Komischke (トランペット)

チェリビダッケ時代のミュンヘンフィル首席。18歳でゲルゼンキルヒェン市立交響楽団首席奏者となる。22歳のとき、巨匠セルジュ・チェリビダッケのオーディションによりミュンヘンフィル首席に指名された。チェリビダッケが最も信頼していた首席奏者であり、EMIのチェリビダッケ・エディションCDにもその音を聴くことができる。ソリストとして、チェリビダッケ始め、マゼール、メータ、バレンボイム、サヴァリッシュなどと共演。コッホ(オーストリア)等から各種CDがリリースされているほか、教授として教則本、編曲楽譜を出版、日本でも1993年から洗足学園大学客員教授、日本トランペット協会講師として指導。名古屋国際室内楽フェスティバル出演を始め、東京、名古屋で定期的なリサイタルを開催。1994年よりワイマールのフランツ・リスト音楽大学教授。



トーマス・マイヤー=フィービヒ Thomas Meyer-Fiebig (作曲 ハイプオルガン)

ドイツ・デトモルト音楽大学作曲科、同大学院作曲課程科卒業。1978年来日。現在は国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる一方、自らパイプオルガン奏者としても日本とドイツを中心に活動。「名古屋オルガンの秋」実行委員。



武内安幸 Yasuyuki Takeuchi (トランペット)

国立音楽大学器楽学科及びベルリン芸術大学器楽科卒業。トランペットを北村源三、フリッツ・ヴェーゼニック両氏に師事。在独中はベルリン交響楽団首席奏者、ベルリン・ドイツオペラ契約団員として活動する。又、パットトランペットのソリストとしてヨーロッパ各地で多くのリサイタルを行う。1994年から2001年までバイロイト音楽祭管弦楽団トランペット奏者となる。日本では数少ないコロノ・ダ・カッチア奏者でもある。「オーケストラ・アカデミカ」メンバー。現在は愛知県立芸術大学音楽学部教授。



加藤千加子 Chikako Katoh (ハイプオルガン)

金城学院大学家政学部児童学科在学中、オルガンを横手多佳子氏に師事。スイス・チューリヒ音楽大学教会音楽オルガン科にてルドルフ・シャイデッガー氏に師事し、LehrdiplomとKonzertdiplomを取得し卒業。ピアノ科にてアドルバート・レッツ氏に師事し、Lehrdiplom取得し卒業。チューリヒ音大主催のコンサート、スイス各地の教会にて、ソロ、室内楽、合唱のコンサートにオルガニスト、チェンバロ奏者として出演。チューリヒ聖カタリーナ・カトリック教会で首席オルガニストを勤める。2007年に帰国。在スイス中、マリー=クレール・アラン、ギィ・ボヴェ、ルイーゼ・タリアヴィニ、ルドルフ・ルッツ、ベン・ファン・オーステンのマスタークラスに参加。現在、金城学院オルガニスト、ローランド東海音楽教室オルガン講師、日本オルガニスト協会会員。



吉田文 Aya Yoshida (ハイプオルガン)

ドイツ・ケルン音楽大学カトリック教会音楽科、並びにパイプオルガン科卒業。A級教会音楽家及びドイツ国家演奏家資格取得。パーダーボルン大聖堂オルガニスト常時代理、ケルン南部司牧地区教会音楽家等を歴任。「名古屋オルガンの秋」「教会音楽Forum」主宰。日本オルガニスト協会会員。

お知らせ

名古屋オルガンの秋 presents ブランチコンサート

@愛知県芸術劇場コンサートホール

10:30~11:30(開場 10:00)

全自由席1000円 **お得です!**

(11月21日のみ 1,500円)

- ◆ 6月6日(水) 大聖堂の響き
- ◆ 9月19日(水) リクエストシリーズ part1
~オペラ・ミュージカル・スクリーンミュージックの珠寶をパイプオルガンで~
- ◆ 11月21日(水) パイプオルガンと2本のトランペットの華麗なる世界
- ◆ 1月9日(水) 楽しいニューイヤーコンサート
J. シュトラウス ポルカ&ワルツ 他

午前中のひとときを、パイプオルガンの響きに包まれて優雅にゴーヤスに過ごしてみませんか?毎回、お客様からのリクエスト曲も募集します。

リクエスト曲が採用された方はコンサートへもペアでご招待!詳しくはブランチコンサートのチラシ、もしくは名古屋オルガンの秋ホームページ <http://organaki.exblog.jp> をご覧ください。